

つくし共同作業所ニュース

生活介護の様子

以前と比べて人数も多くなった生活介護の、最近の様子を紹介します。

二つの部屋に分かれて作業をしています。大きな部屋では主にスポンジの袋入れなどの作業を、もう片方の部屋ではスポンジの目取りや袋入れをしています。年度当初に比べて、皆の集中力・正確さ・スピードとも各段に向上しました。下請けの業者さんも「最近の生活介護はがんばってる」「調子がいい」と話してくれています。

和気あいあいと話

をしながら、でも決して手を止めずにどんどん作業を続けてきた努力の結果だと思います。

時には誰かの口ず

さんだ歌が、他の誰かの笑顔になり、みんなの集中力の源になることもあります。さらに、スポンジのテープ留めやシール貼りなど、初めての作業を自らチャレンジする人が何人かできてきました。つくし共同作業所の目標である「成長」を早くも見せてくれています。



初めてのシール貼りに挑戦！



生活介護では、毎週金曜日に、体験を通して社会性を伸ばす取り組みをしています。交代で作業所を出て、買い物に行き好きなものを自分で買った

り、図書館で思い思いの本を読んだり、季節のイベントに合わせてドライブしたりしています。新年が明けてからは、コロナウイルス感染症の拡大により出かけに行きことができていませんがまた自由

に出かけられるようになり、思う存分リフレッシュしたいものです。



眺め最高！鷲ヶ峰コスモスパーク！

音楽療法

また、月に一度、音楽療法の先生が来てくださり、色々な歌や演奏をみんな楽しんでいきます。こちらも現在は、動画を送ってください、みなでみて・歌って・聴いています。なかなか思うように好きなことをしにくい今の生活の中での、大切な気分転換の時間となっています。

とはいえ、早くこのコロナ禍が収束し、自由にかけたり、直接音楽療法の先生に来てもらうことも可能となるよう、心待ちにしています。



動画を使って音楽療法をしています

安心できる生活の場を

有田つくし福祉会

理事長 西林久子

湯浅小5年生が訪問

昨年十二月初め湯浅小学校5年生の児童が福祉の勉強でつくし共同作業所を訪問してくれました。その時の質問で『つくし』の名がなぜ付けられたのかという質問がありました。

つくしの名前はどこから？

つくしの由来は、今から30年以上前の『障がい児学童保育つくしの会』に遡ります。当時は今のような学童クラブはなく、友達もできにくい状況で、悩んだ障がい児を持つ保護者たちが、障害児学級を担任する先生有志と相談し学童保育をスタートさせたのです。

つくしは早春の野原や土手にいつの間にか顔を出し、太陽に向かいたくましく伸びます。私たちもつくしのようになくましく生きたいねと互いに声を掛け合う保護者の言葉が決め手で、その名前が付けました。



後にそのお母さん方や成長した子供さんがベースとなってできた

作業所ですから、名前は何の迷いもなく『つくし共同作業所』となったわけです。

その訳を知った5年生も納得の様子で、感想文にもつくしのようになくましくと何人も書いてくれていました。

Aさんの歌声にほっこり！

もう一つ生活介護の利用者Aさんのお話を紹介します。

リズム感抜群で歌うのも聞くのも大好きなAさんは、作業中もよく歌を口ずさんでいます。Aさんの歌声のリズムに共鳴して、いつの間にかみんなの作業スピードが上がり、しかも楽しく作業ができています。そのことに気づいた職員が、早速その様子をお母さんに伝え、「一緒に作業をする利用者さんはAさんのことが大好きで、来てくれるととても嬉しいようです。」と付け加えました。



早速お母さんがそれをAさんに話してくれたのか、作業所を休みがちだったAさんはそれ以来、休むことなく作業所に来れるようになりました。作業室からいつも小声ですが歌声や話し声が聞こえます。そのリズムに乗ってほかの利用者さんも、止まりそうになった手をまた動かし、みんな楽しそうに作業しています。ホッとする何ともいえない嬉しい



オリーブ

光景です。仕事はグループでする作業です。個性も感じ方も考え方も違う中で、互いに尊重し、相手の良さを見つけて協力しあえると、仕事はよりはおもしろい

になります。そしてそこは安心できる居心地のいい生活の場になると思います。

今年もよろしくお願ひします

現在、新型コロナウイルス感染症の拡大で厳しい状況が続いています。保護者の方から「コロナの感染拡大、不安でいっぱいですが予防について常に考え、家の方でも頑張ります」と連絡帳に書いてくれていました。各ご家庭でも細心の注意をいただき、仕事・生活・居場所を安定して提供できたことは何より嬉しいことです。

これからも感染予防をさらに徹底していくと同時に、有田つくし福祉会の合言葉『つくしにきてよかったよ』の聲がい



早月農園

っぱい聞こえてくるように職員一同力を合わせ、思いも新たに歩みを進めてまいります。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

オリーブニュース



いつも「カフェ&ベーカリーオリーブ」をご利用くださりありがとうございます！

2022年になってもう1か月がたち1月「行く」が過ぎ「逃げる」ように過ぎると言われる2月になりましたね。3月は「去る」。いろいろと忙しく、騒がしい毎日ですが、ご自愛ください。

ピカピカ隊結成!!



新型コロナウイルス（オミクロン株）がこの和歌山有田でも大流行し、その影響で訪問販売に行けなくなりました。

訪問販売メンバーはいつも楽しく行っていた販売に行けなくなり、最初こそしょんぼりしていましたが、最近では「販売に行けないなら、その代わりにオリーブをピカピカにしちゃおう！」ということで、オリーブの食堂や廊下、普段掃除できないところを綺麗にする「ピカピカ隊」を結成しました。みんな一生懸命がんばってくれています。オリーブの



店頭メンバーも、お客様の来店が少ない時は店の掃除を頑張ってくれています！今年の年末大掃除はしなくても良いくらいピカピカです。

地球にやさしいパンセット

オリーブでは「地球に優しいパンセット」5個入り390円。という、フードロス削減の取り組みを始めました！！

前日に残ったパンが5個入ったお得なパンの詰め合わせセットです。毎日ではございませんが、前日にパンがいくつか残ってしまった場合のみ翌朝販売させて頂いております。



地球に優しいパンセット 5個入り 390円（サンキュー）

前日に焼いたパンです。
オリーブは、フードロス削減に取り組んでいます。
ご協力をお願いします。
サンキュー！



当日焼いたパンをその日に完売出来たら一番嬉しいのですが、残念ながら売れ残ってしまう日もあります。「地球に優しいパンセット」見つけたらラッキーくらいの気持ちでのぞきにきてください。早月農園のジャム・野菜・果物なども販売しています。



早月農園ニュース

10月の極早生より始まった早月農園最大の農繁期も残すところ八朔の出荷のみとなりました。今年度もたくさんのお客様に購入していただき売り上げも好調でした。利用者の皆さんも収穫、撰果、出荷にフル回転で頑張りました。

山椒収穫

ボランティア・アルバイト募集!!
春夏秋冬何かと忙しい早月農園ですが、5月中旬から6月にかけての「ぶどう山椒」の収穫も短期勝負の農繁期となります。

山椒の収穫アルバイトまたはボランティアを募集しています。山椒の収穫は初めてでもすぐできる簡単な作業です。有田川町が誇る日本一の「ぶどう山椒」を一緒に収穫してみませんか？



期間：5月中旬～6月初旬
（ボランティアは半日からでもOKです！）
お問い合わせは早月農園まで
連絡先（0737-34-2008）

【畑だより】

寒さに負けず、農作業チームは今日も畑仕事に動んでいます。みかんの収穫、梅の剪定を終え、次は八朔の収穫・出荷、野菜畑ではじゃがいもの定植の準備と、季節と共に移ろいでいきます。

コロナ禍でも作業に大きな影響がなく、外で元気に黙々と畑仕事を進めているのは農業の強みです。

早月農園の開設から丸10年が過ぎました。借り受けた休耕地二十五アールの開墾から始めた農地は、現在は四・六ヘクタールにぐっと広がりしました。その当時から利用者さんは、農作業や出荷作業にも慣れ、そして新しい仲間も増え、毎日みんなで成長を続けています。

頑張つて育てた農作物はじめ、早月農園一同、本年もよろしく願い致します。



☆新商品の紹介コーナー☆



キャラメルデニッシュ

今回の季節のデニッシュは「キャラメルと生クリーム」。キャラメルと生クリームの相性がとてもよく、食べ終わった後は余韻にひたれます♪



生チョコタルト

とってもおしゃれな生チョコタルト。1口食べればお口いっぱい広がります！お口が幸せになります♪



チョコチップクグロフ

チョコチップがたくさん入ったクグロフに生クリームをたっぷりのせて、アーモンドチョコを飾りました♪プレゼントにいかがですか？



チョコチップメロンパン

ころんとかわいい、みんな大好きメロンパンとチョコチップが会いました♪

通行止めのお知らせ

3月25日まで早月農園に通じる県道楠本小川線が時間制限の通行止めとなっています。（迂回路あり）

喫茶「はやつき」中止のお知らせ

通行止めに伴い、毎月第3土曜日の「喫茶はやつき」「野菜パン販売」の開催も難しいと判断し2月、3月は中止させていただくことになりました。コロナ禍も落ち着き、桜の咲く頃になりましたら喫茶はやつきは是非お越しください。

国会請願署名協力をお願い

きょうされんは、障がい者の働く場や生活の充実を図り、労働を軸に障がい者の豊かな生活の発達の実現を図るため、相互の交流や研究活動、国への要望活動を行っています。毎年この時期に取り組む国会請願署名活動もその一環です。今回が第四十五次請願となります。「国会請願署名活動」は四月末まで続きます。署名用紙はつくし共同作業所、カフェ&ベーカリーオリーブ、早月農園にありますので、協力いただける場合はご連絡ください。数は力です。請願署名活動への協力よろしくお願いします。